

新モビリティ導入に向けた検討状況について

## **南河内地域での実証実験（先導的モデル事業）**

---

---

# 目 次

<b>1. これまでの協議会におけるの確定事項</b>	<b>1</b>
<b>2. 今回の協議会における協議・確認事項</b>	<b>3</b>
<b>2-1. 全体スケジュール</b>	<b>4</b>
<b>2-2. 運行に必要な施設</b>	<b>5</b>
<b>2-3. 自動運転技術のレベルアップに向けた取組</b>	<b>6</b>
<b>2-4. 機運醸成の取組（案）</b>	<b>13</b>

# 1. これまでの協議会においての確定事項①

## ■ 運行計画 (案)

### 1. 運行ルート

(仮称) 北部ルート 上ノ太子駅～太子町役場経由～近つ飛鳥博物館  
運行距離 約7.9km (片道)

(仮称) 南部ルート 富田林駅～河南町役場経由～千早赤阪村役場  
運行距離 約8.3km (片道)

### 2. 使用車両

EVバス  
全長：6.99m  
座席数：11 (客席定員) + 1 (運転席)



### 3. バス停 (北部ルート・南部ルートとも)

起終点 + 途中バス停 5箇所

### 4. 運行日 (北部ルート・南部ルートとも)

毎日運行 (平日・休日) 年末年始 (12/29～1/3) は除く  
各ルートの運行期間については、概ね3か月間ごと交互に運行を予定

### 5. 運行時間帯及び頻度 (北部ルート・南部ルートとも)

概ね10時～16時で、1日4便 (往復) 程度

### 6. 乗車方法 (北部ルート・南部ルートとも)

自由乗車 (事前予約不要)

※本運行計画 (案) について、引き続き、市町村や交通事業者等と協議・調整していく。



実証実験運行ルート図

# 1. これまでの協議会におけるの確定事項②

## ■ 自動運転技術のレベルアップに向けた取組

＜実証実験における到達目標＞ 目標年次：令和10年度（2028年度）

- 令和8年度から、段階的に自動運転区間を延伸していき、全ての運行区間において自動運転レベル4（特定条件下の完全自動運転 手動介入率※0%）をめざす

※「手動介入率」＝「手動介入していた時間」/「走行時間」

＜L4をめざした実証実験の進め方＞

- 自動運転バス2台を活用

- 1号車（乗客あり）

▶ 乗客乗車により2ルートを一定期間ごとに交互運行し、多くの住民の方々に利用いただくことで、自動運転バスの認知度と社会受容性を高めるとともに、移動の安全性・快適性等のモニタリングを実施。併せて、運転手の技術向上を実現

- 2号車（乗客なし）

▶ 技術向上のスピードアップを図るため、乗客なしでL4取得に向けた車両の自動運転技術のレベルアップに専念（早期にL4区間を創出）するとともに、レベルアップした技術を、乗客乗車バス（1号車）にフィードバック

## 2. 今回の協議会における協議・確認事項

---

今年度（11月～）及び来年度から実証実験の実施に先立ち、以下の事項について協議・確認

### <協議・確認事項>

#### ■ 全体スケジュール

協議会等の開催など、必要な取組の状況

#### ■ 運行に必要な施設

車庫など、運行に必要な施設の整備状況

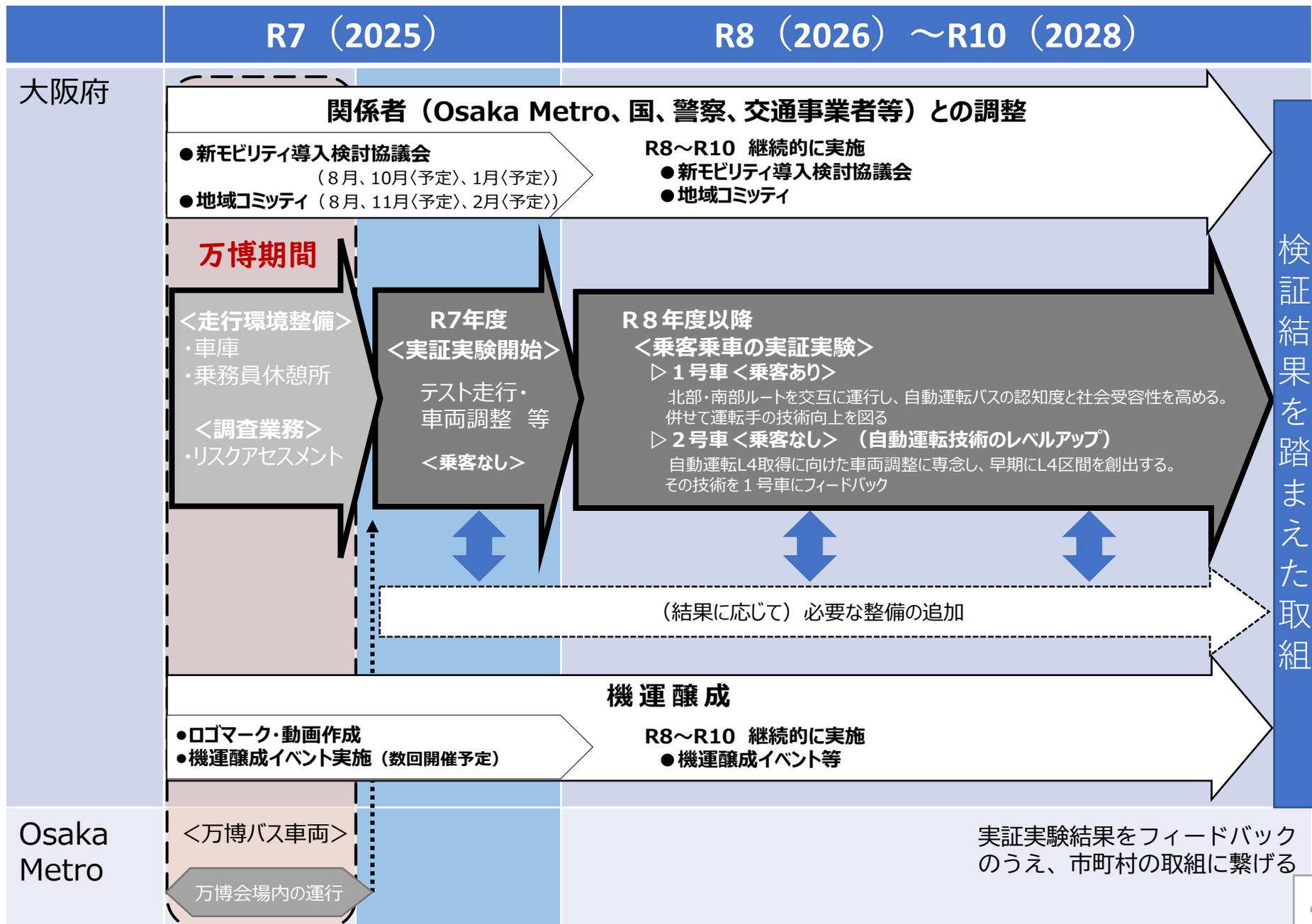
#### ■ 自動運転技術のレベルアップに向けた取組

自動運転レベル4をめざすうえで、調査を実施し必要な対策を検討

#### ■ 機運醸成の取組（案）

自動運転技術や運行時等の協力について、地域住民の理解が得られるよう、計画的に取組等を実施

# 2-1. 全体スケジュール



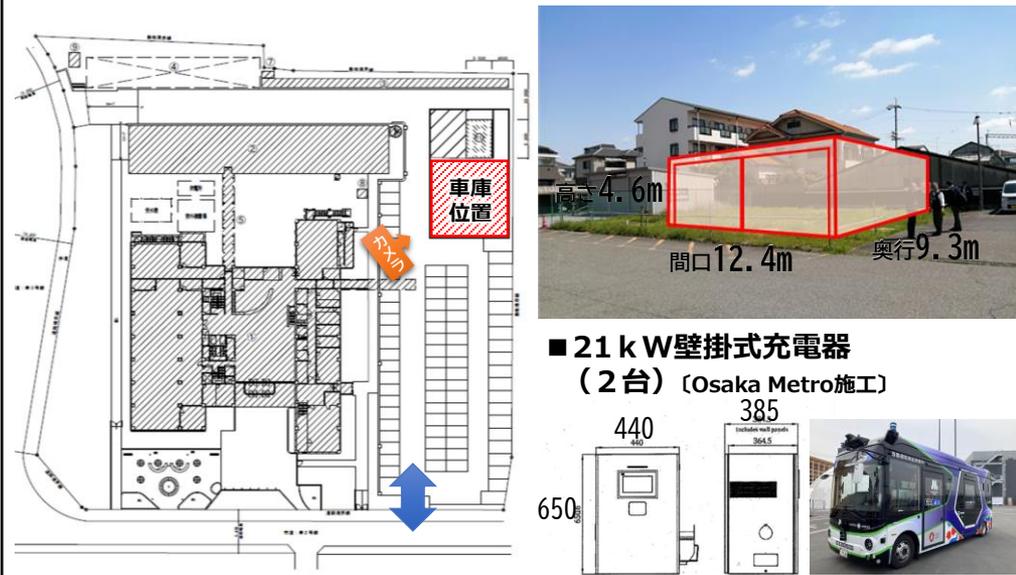
# 2-2. 運行に必要な施設

# 車庫及び乗務員休憩所の整備

## ■ 位置図



## ■ 車庫 (南河内府民センター) ■ 整備イメージ (小型EVバス2台)



## ■ 乗務員休憩所

ル - ト	北部ルート	南部ルート
場 所	上ノ太子駅前	村立中学校前バス停付近
建物所有者	太子町	千早赤阪村
土地所有者	民地 (太子町が借地)	千早赤阪村
使用形態	府町の共同利用	府の単独利用
使用範囲	11.6/11.6m <sup>2</sup> (トイレ含む)	11.2/11.2m <sup>2</sup> (トイレ含む)
使用期間	R7年11月~R11年3月	R7年11月~R11年3月
現 状		

## 2-3. 自動運転技術のレベルアップに向けた取組

### ■ 自動運転レベル4の実現に向けた取組

- 実証運行ルート上のリスクアセスメント（事故・運行トラブルの発生が予想される箇所）調査を実施し、調査結果を踏まえ計画的に順次、対策を実施し課題を解決していく
- 実証実験を繰り返し、自動運転化率を高めていき、全実証運行区間においてレベル4をめざす

### ■ リスクアセスメント調査概要（速報）

【調査概要】 実証運行ルートにおいて、「視認性」、「障害物等」、「交通の流れ」、「道路構造」といった、レベル4運行に向けて影響を及ぼす可能性のあるハザードを抽出し、その対策を検討（10月末までにとりまとめ）

【調査日】 令和7年6月26～27日、7月14～15日

【調査結果】 北部ルート（片道約7.9km）

○ハザード総数26件

⇒信号の無い横断歩道、急な下り坂の道路、街路樹等、歩車分離されていない道路 等

南部ルート（片道約8.3km）

○ハザード総数31件

⇒信号の無い横断歩道、急な下り坂の道路、街路樹等、歩車が分離されていない道路、駐停車車両、施設入出庫口 等

## 2-3. 自動運転技術のレベルアップに向けた取組

### ■ リスクアセスメントにおける調査内容（調査項目の事例）

☞ 各停留所区間におけるリスク要因を下記チェック項目ごとに調査

#### 視認性の状況

(直進時)

- 運転席から歩道の歩行者、自転車等の状況
- 側道方向車両の状況
- 側道後方からの二輪車・歩行者等の状況
- 歩行者、自転車等から直進する自車の状況

(交差点通過時)

- 運転席から交差車両が見えにくい
- 運転席から歩行者が見えにくい
- 交差車両から自車が見えにくい
- 歩行者から自車が見えにくい

#### 交通流の状況

(交通量)

- 特定時間に渋滞が発生する
- 特定時間に歩行者、自転車が多く通行する
- 二輪車の通行が多い
- 沿道施設からの出入り車両が多い

(交通環境)

- 車の走行速度が高い
- 追い越し車両がある
- 駐停車車両がある
- 乱横断者がある
- 車道へはみ出して歩行している

#### 障害物の状況

(設置物)

- 標識や看板、路面標示が運転席から見えにくい
- 道路反射鏡が運転席から見えにくい

(停留所)

- 停留所付近に看板・標識が設置されているか
- 停留所付近に街路樹が設置されているか
- 停留所付近に駐車場出入口があるか
- 停留所付近に幟（のぼり）が設置されているか

#### その他

(周辺施設の立地状況)

- 文教施設が近い
- 医療施設が近い
- 福祉介護施設が近い
- 店舗施設が近い
- 公共施設（役所等）が近い

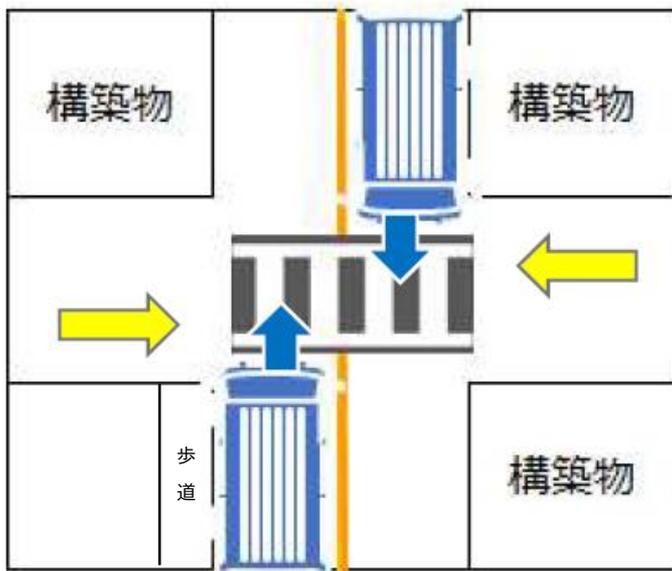
#### 道路構造

- 車線数
- 横断歩道
- 歩車区分
- 路側帯
- ガードレール
- 道路幅員
- 標識
- 植栽・樹木  
など

## 2-3. 自動運転技術のレベルアップに向けた取組

### ■ 主な課題解決（自動運転化率100%）に向けた取組イメージ ①

#### （課題） 信号のない横断歩道



自車（バス）の動き  
：直進



歩行者や自転車等の  
動き（位置）  
：左前方又は右前方

- 【道路状況】 片側1車線、中央線黄色線
- 【歩車分離】 進行方向：歩道有り、反対方向：歩道無し
- 【相手方行動】 歩行者や自転車等が死角から飛び出し
- 【シナリオリスク】 歩行者や自転車等と接触

対策案※

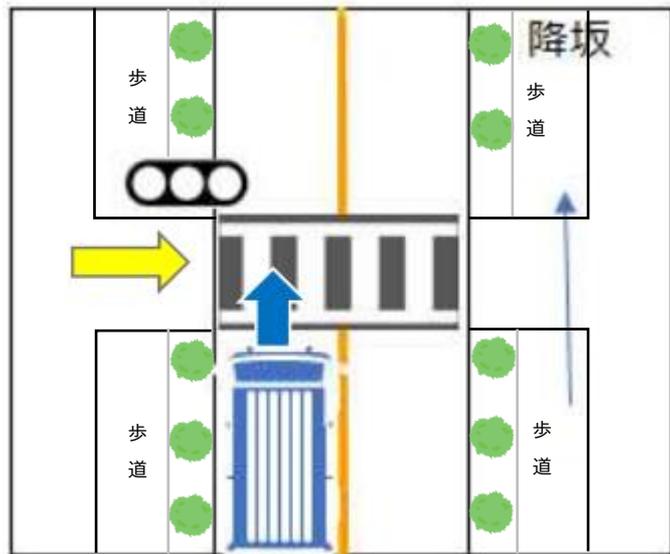
車両システム調整により減速

※今後、車両システムや道路側での対策について詳細に検討していく

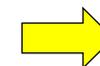
## 2-3. 自動運転技術のレベルアップに向けた取組

### ■ 主な課題解決（自動運転化率100%）に向けた取組イメージ ②

#### （課題） 急な下り坂の道路



自車（バス）の動き  
：制動が効きづらい  
直進



歩行者や自転車等の  
動き（位置）  
：左前方

- 【道路状況】 交差点：信号有り
- 【歩車分離】 進行方向：歩道・植樹帯有り、反対方向：歩道・植樹帯有り
- 【相手方行動】 歩行者や自転車等が死角から飛び出し
- 【シナリオリスク】 歩行者や自転車等と接触

#### 対策案※

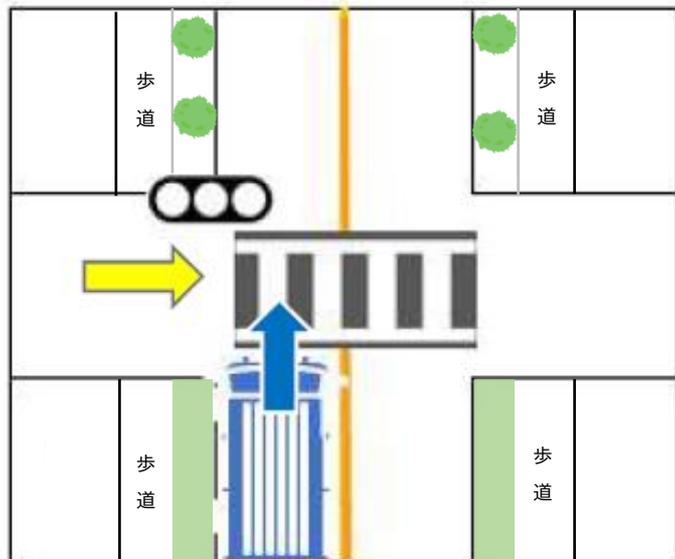
車両システム調整により減速

※今後、車両システムや道路側での対策について詳細に検討していく

## 2-3. 自動運転技術のレベルアップに向けた取組

### ■ 主な課題解決（自動運転化率100%）に向けた取組イメージ ③

#### （課題） 植栽・街路樹



  
自車（バス）の動き  
：直進

  
歩行者や自転車等の  
動き（位置）：左前方

【 道 路 状 況 】 信号交差点

【 歩 車 分 離 】 進行方向：歩道・植樹帯有り、反対方向：歩道・植樹帯有り

【 相 手 方 行 動 】 歩行者や自転車等が死角から飛び出し

【 シナリオリスク 】 歩行者や自転車等と接触

#### 対策案※

車両システム調整により減速、植栽の剪定

※今後、車両システムや道路側での対策について詳細に検討していく

## 2-3. 自動運転技術のレベルアップに向けた取組

### ■ 令和8年度から早期にレベル4をめざす区間【北部ルート】

方向：上ノ太子駅⇒近つ飛鳥博物館

区間	距離	主な所在地
A	上ノ太子駅前～和みの広場前	太子町
B	和みの広場前～磯長小学校前	太子町
E	六枚橋東～東山	太子町
H	大宝1丁目～近つ飛鳥博物館前	河南町
計	5.8km	73.4%*

※運行距離（7.9km）に対する割合

方向：近つ飛鳥博物館⇒上ノ太子駅

区間	距離	主な所在地
H	近つ飛鳥博物館前～大宝1丁目	河南町
E	東山～六枚橋東	太子町
A	和みの広場前～上ノ太子駅前	太子町
計	5.6km	70.9%*

※運行距離（7.9km）に対する割合

往復運行距離に対する割合

$$(5.8\text{km}+5.6\text{km}) / 7.9\text{km} \times 2 = 72.2\%$$



# 2-3. 自動運転技術のレベルアップに向けた取組

## ■ 令和8年度から早期にレベル4をめざす区間【南部ルート】

方向：富田林駅⇒千早赤阪村役場

区間		距離	主な所在地
A	富田林駅～川向	1.0km	富田林市
E	オークワ～森屋西口（一部）	0.9km	河南町
計		1.9km	22.9%*

※運行距離（8.3km）に対する割合

方向：千早赤阪村役場⇒富田林駅

区間		距離	主な所在地
E	森屋西口～オークワ（一部）	0.9km	河南町
A	川向～富田林駅	1.0km	富田林市
計		1.9km	22.9%*

※運行距離（8.3km）に対する割合

往復運行距離に対する割合

$$(1.9\text{km}+1.9\text{km}) / 8.3\text{km} \times 2 = 22.9\%$$





# 2-4. 機運醸成の取組

## ■ ロゴマーク作成の目的

※前回の協議会において、自動運転バスのロゴデザイン制作について確認済

- 万博閉幕後からの自動運転バスの実証実験に向けて、南河内地域の方々をはじめ府民の皆様の自動運転バスに関する認知度の向上や、地域との一体感ある取組をイメージしていただけるよう、ロゴマークを作成

## ■ ロゴマークの投票 <期間 7月1日から7月31日まで>

- 地元の河南町にある大阪芸術大学の学生の皆様に作成いただいた作品のうち、優秀作品5作品の中から自動運転バスの走行地域に在住又は通勤、通学されている皆様を対象に投票を行い、得票数が最も多かった作品をロゴマークとして採用
- 11/8の自動運転イベントでロゴマークをお披露目



採用されたロゴマークは自動運転バスの実証実験の取組内容の周知機運醸成のためのイベントで配布するオリジナルグッズで活用

### 【ロゴマーク候補5作品】

①



南河内新モビリティプロジェクト

②



南河内新モビリティプロジェクト

③



南河内新モビリティプロジェクト

④



南河内新モビリティプロジェクト

⑤



南河内新モビリティプロジェクト

南河内の未来を支える  
南河内新モビリティプロジェクト

# ロゴマーク Contest!

大阪・関西万博の閉幕後から始まる自動運転バスのロゴマーク案を大阪芸術大学(河南町)の学生さんが作成してくれました。

南河内の未来を支える自動運転バスのロゴマークとして、以下5点から、皆さんが最もふさわしいと思うもの1点にQRコードまたは備え付けの投票用紙でご投票ください!

① 南河内新モビリティプロジェクト  
② 南河内新モビリティプロジェクト  
③ 南河内新モビリティプロジェクト  
④ 南河内新モビリティプロジェクト  
⑤ 南河内新モビリティプロジェクト

**BUS STOP**

QRコードでの投票はこちら  
(投票期間 7/1~7/31)

投票いただいた方の中から  
抽選で3名様に南河内の特産品をプレゼント!

問い合わせ 大阪府 都市整備部 事業調整室 新交通施設推進課 TEL: 06-4397-4143  
富田株式会社 建設課 TEL: 0721-25-1131  
太子町役場 政策総務部 総務政策課 TEL: 0721-99-5531  
河南町役場 政策総務部 総務課 TEL: 0721-93-2500  
千早赤阪村 総務部 総務政策課 TEL: 0721-72-0081

大阪府 ©Expo 2025

ロゴマーク投票促進ポスター

## 2-4. 機運醸成の取組（調整中）

### ■ 万博会場内パビリオン「フューチャーライフヴィレッジ」における出展

万博で披露している自動運転バスについて、実際に走行しているバスへの乗車のみならず、パビリオンにおいて自動運転に関する映像や展示、万博閉幕後の社会実装に向けた取組の紹介など、来場者の方に視聴、体感していただく

### ■ 出展概要（万博レガシーとして、南河内地域における自動運転バスの取組を紹介）

出展時期：10月出展で調整中（期間は、1週間程度）

出展イメージ

- モニターによる事業映像
- 事業の経緯、ルート図やロードマップなどのパネル展示
- 南河内地域のPR など

※Osaka Metro、地元市町村と連携して実施



会場イメージ



会場イメージ



フューチャーライフエキスぺリエンス

（出典）公益財団法人2025年日本国際博覧会協会HP